

収入のベースは東京。
「居住地青森」を満喫する働き方

【インタビュープロフィール】

- ・ 氏名：和田 雄一郎（わだ・ゆういちろう）
- ・ 年齢：36歳
- ・ 出身：青森市（Uターン）
- ・ 現在の居住地：青森市
- ・ 移住前の居住地：東京都
- ・ いつ移住：2020年10月～
- ・ 職業：税理士、経営コンサルタント





資格取得と実務経験を経て、 18年振りに青森へ

もともと両親が商売をしていたことから、将来は自分もどこかに勤めるのではなく、手に職を付けて**自宅でできる仕事がしたい**と思い、中学の頃から実家に出入りしていた**税理士**の職業に興味を持っていました。

その後税理士の資格取得を目指して東京の大学・大学院に進学し、国家資格を取得後は、税理士としての実務経験を積むために東京の税理士法人に勤めました。



資格取得と実務経験を経て、 18年振りに青森へ

青森に帰ってくるきっかけになったのは、4年前。

東京で税理士として勤めていたときです。子どもが2歳くらいの頃、夏に家族で帰省してねぶたを観たんです。

その時子どもがかぶりつくようにねぶたを見ていて、「ああ、帰ろうかな」と。

青森で子育てすることで東京では経験できないことをたくさんさせてあげられると思ったことから移住を決意し、約3年の準備期間を経て、2020年10月に青森に移住しました。

**東京の仕事^を青森で。
青森でしかできない経験^を子どもたちへ。**

現在は税理士として、中小企業や個人事業の相談に応じているほか、経営コンサルタント会社と不動産投資の会社も経営しています。税理士の仕事は**顧客の7割が東京の企業や個人事業**で、青森に居ながらほとんど東京の仕事をしています。

東京へは月に一度のペースで出張しています。**東京へは必要な時だけ行くくらいの距離感がちょうどいいですね。**

税理士としての仕事は自宅の事務所で、不動産投資と経営コンサルタントとしての業務はコワーキングスペースで行い、業務のすみ分けをすることで仕事にメリハリをつけています。



**東京の仕事を青森で。
青森でしかできない経験を子どもたちへ。**

2人の子どもは青森市内のインターナショナルスクールに通っています。

東京でインターナショナルスクールに通わせるとなると収入の面で厳しいですが、青森ならそれほど高くない金額で通わせることができます。

また、スキー、スノーボード、釣り、BBQなどのレジャーはとても身近ですね。思い立ったらすぐにできます。

東京で働いていたときは通勤に往復2時間掛かっていて、その分子どもとの時間を確保することが難しかったですが、今は車で15分で帰れるので、子どもたちとゆとりを持った生活ができています。



青森の会社や個人の手助けをしたい！

今後は、青森の会社や個人事業から相談や業務を増やしていきたいです。

身近な人の困りごとに対して相談に乗り手助けしたいので、たとえばこれから自分で商売を始める人で、若い税理士に相談してみようかな、と気軽に連絡をくれる人が増えてくれたらうれしいです。商売人が増えることで、街全体が面白くなってくれたらいいなと思います。



移住を考えている方へメッセージ

自分が生まれ育ったことを差し引いても、青森は住むには最高の土地だと思います。青森はニューヨークと同じ緯度です。

冬は厳しいですが、大都市でも同じ生活をしていると思えばポジティブに考えられます。**青森だけで商売するとは考えず、「居住地は青森」と胸を張って言える稼ぎ方を自分で見つけてほしいです。**

